

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	北陸農政局
					目標値	基準年年度	目標年令和6年度	達成率	具体的な取組内容	
新潟県	新潟県花き振興協議会	チューリップ ユリアザレア	令和元年度	全国農業協同組合連合会新潟県本部の花き取扱実績金額	4,210,306,371円 (10%増加)	3,827,551,246円 (H25-29年 5中3平均)	3,422,508,050円	-105.8% 未達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証 ・消費拡大プロモーション活動	成果目標は未達成であるため、事業実施主体に対し目標達成に向けた改善計画の提出を求める。
				新潟市の家計調査における切り花及び園芸用植物・園芸用品の消費額	19,125円 (5%増加)	18,214円 (H26-30年 5中3平均)	16,079円	-234.3% 未達成		
石川県	石川県花き振興地域協議会	切り花葉ボタン	令和元年度	活動区域における切り花葉ボタンの出荷量	516千本 (10%増加)	469千本 (H24-28年 5中3平均)	374千本	-202.1% 未達成	・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・種苗等増殖技術の導入実証 ・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証 ・消費拡大プロモーション活動 ・花育体験、園芸体験等による花きの活用促進	<p>目標未達成の原因としては、ここ数年来続いている高温により、発芽不良や害虫による欠株、根張りが悪くなることによる生育不良(草丈不足や葉の巻きの緩み)、着色不良(色もどり)が発生し、品質が低下したため出荷量が減少したことによる。</p> <p>また、県下最大の切り花葉ボタンの産地において、生産者7名が、より高単価が見込めるスプレーストックへの品目転換を行っている。スプレーストックは、高温による花色変化がなく、ハウスの温度管理が比較的容易であることから、今後も葉ボタンからの品目転換が進む見込みである。</p> <p>加えて、令和6年元旦の能登半島地震及び同年9月の奥能登豪雨の後は、生活再建の優先、ほ場被害、労働力不足等の理由から廃業をした者や生産を縮小している者が複数おり、全体として、災害前の生産規模に回復することは困難である。</p> <p>以上のとおり、気候変動による栽培環境の変化、災害の発生などにより取組が困難になっていることから、やむを得ないものとして今回で評価を終了する。</p> <p>なお、事業実施主体においては今後、病害虫の早期発見や防除の徹底に努めるほか、色もどりにくく着色に優れた品種を探し、品種の切り替えを進めるなど、産地の維持、振興を図ることとしている。</p>

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。